

TPPの基本的考え方

1. 高い水準の自由化が目標

アジア太平洋自由貿易圏(FTAAP)に向けた道筋の中で実際に交渉が開始されており、アジア太平洋地域における高い水準の自由化が目標。

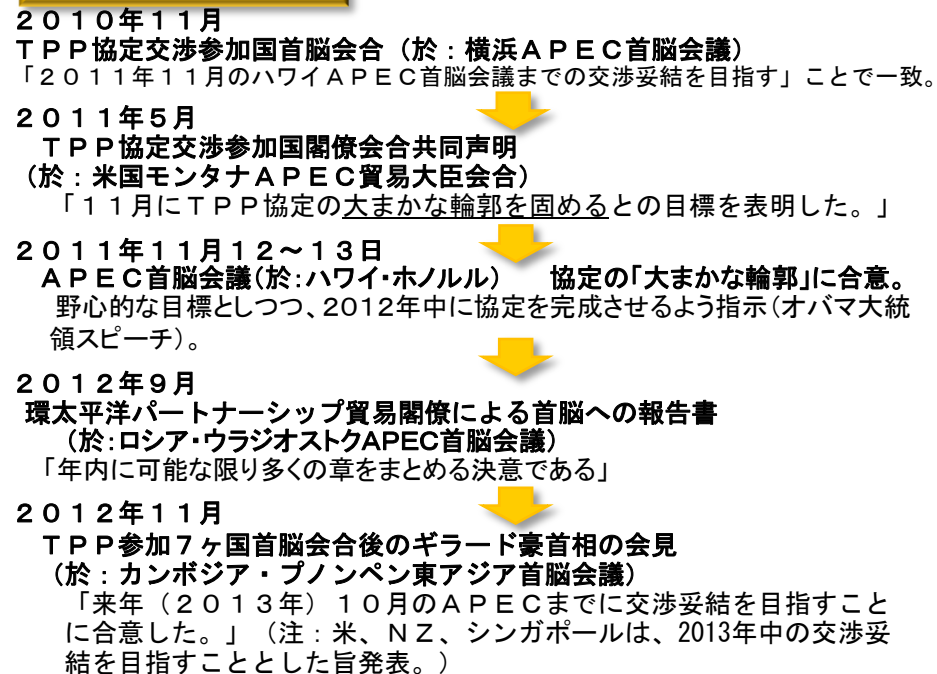
2. 非関税分野や新しい分野を含む包括的な協定

FTAの基本的な構成要素である物品市場アクセス(物品の関税の撤廃・削減)やサービス貿易のみではなく、非関税分野(投資、競争、知的財産、政府調達等)のルール作りのほか、新しい分野(環境、労働、「分野横断的事項」等)を含む包括的協定として交渉されている。

交渉日程

2010年	3月	第1回会合(於:豪州)
		P4協定(環太平洋戦略的経済連携協定)加盟の4カ国(シンガポール、NZ、チリ、ブルネイ)に加えて、米、豪、ペルー、ベトナムの8カ国で交渉開始。
	6月	第2回会合(於:米国)
	10月	第3回会合(於:ブルネイ) マレーシアが新規参加
	12月	第4回会合(於:NZ)
2011年	2月	第5回会合(於:チリ)
	3月	第6回会合(於:シンガポール)
	6月	第7回会合(於:ベトナム)
	9月	第8回会合(於:米国)
	10月	第9回会合(於:ペルー)
	12月	第10回会合(ミニラウンド)(於:マレーシア)
2012年	3月	第11回会合(於:豪州)
	5月	第12回会合(於:米国・ダラス)
	7月	第13回会合(於:米国・サンティアゴ)
	9月	第14回会合(於:米国・リースバーク)
	12月	第15回会合(於:NZ・オークランド)
(以下、予定)		
2013年	3月	第16回会合(於:シンガポール)

目標



物品市場アクセス

○ 物品の貿易に関して、関税の撤廃や削減の方法等を定めるとともに、内国民待遇など物品の貿易を行う上での基本的なルールを定める。

貿易円滑化

○ 貿易規則の透明性の向上や貿易手続きの簡素化等について定める。